【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和7年3月24日(2025.3.24)

【公開番号】特開2024-46892(P2024-46892A)
【公開日】令和6年4月5日(2024.4.5)
【年通号数】公開公報(特許)2024-063
【出願番号】特願2022-152244(P2022-152244)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｋ　1/01(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｋ　1/01　８０１Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月13日(2025.3.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の部材及び第２の部材を含む複数の部材の組み合わせから構成されており、各部材の組み合わせによって外形が異なり且つ飼育対象が異なる第１の形態及び第２の形態をとるペット用トイレであって、
第１の部材は、第１の形態において視認不能であり且つ第２の形態において視認可能である表示部を有する、ペット用トイレ。
【請求項２】
第１の部材が底部及び該底部の周縁に立設された側壁を有する外容器であり、
第２の部材がペットの排泄液を透過可能な簀の子構造の底部及び該底部の周縁に立設された側壁を有する内容器であり、
前記外容器の側壁の一部に高さの低い外低側壁部を設けるとともに、
前記内容器の側壁の一部に高さの低い内低側壁部を設け、
前記外低側壁部と前記内低側壁部との位置を一致させて内容器を外容器の内部に配置することで、その隣接部の側壁よりも高さが低く、ペットがトイレ内に進入可能なペット進入部が形成されるようになされているとともに、
前記外低側壁部の位置と前記内低側壁部の位置とが一致しないように前記内容器を前記外容器の内部に配置することで、外低側壁部を内容器の側壁によって閉塞し、且つ内低側壁部を外容器の側壁によって閉塞して、前記ペット進入部が形成されないようになされており、
第１の形態においては、前記外低側壁部の位置と前記内低側壁部の位置とが一致しており、第２の形態においては、前記外低側壁部の位置と前記内低側壁部の位置とが不一致である、請求項１に記載のペット用トイレ。
【請求項３】
前記外容器は、前記外低側壁部が設けられた前記側壁と対向する位置にある側壁の内面に前記表示部を有する、請求項２に記載のペット用トイレ。
【請求項４】
前記内容器は、前記側壁の外面に内容器第２表示部を有する、請求項２又は３に記載のペット用トイレ。
【請求項５】

前記外低側壁部に向かって前記ペット用トイレを見たときに、前記内容器の前記側壁の内面に、第１の形態において視認可能であり且つ第２の形態において視認不能である内容器第１表示部を有する、請求項２又は３に記載のペット用トイレ。

【請求項６】

第１の部材及び第２の部材を含む複数の部材の組み合わせから構成されており、各部材の組み合わせによって外形が異なり且つ使用形態が異なる第１の形態及び第２の形態をとるペット用トイレであって、

第１の部材が底部及び該底部の周縁に立設された側壁を有する外容器であり、

第２の部材がペットの排泄液を透過可能な簀の子構造の底部及び該底部の周縁に立設された側壁を有する内容器であり、

底部及び該底部の周縁に立設された側壁を有する外容器と、

ペットの排泄液を透過可能な簀の子構造の底部及び該底部の周縁に立設された側壁を有する内容器とを備えたペット用トイレであって、

前記外容器の側壁の一部に高さの低い外低側壁部を設けるとともに、

前記内容器の側壁の一部に高さの低い内低側壁部を設け、

前記外低側壁部と前記内低側壁部との位置を一致させて内容器を外容器の内部に配置することで、その隣接部の側壁よりも高さが低く、ペットがトイレ内に進入可能なペット進入部が形成されるようになされているとともに、

前記外低側壁部の位置と前記内低側壁部の位置とが一致しないように前記内容器を前記外容器の内部に配置することで、外低側壁部を内容器の側壁によって閉塞し、かつ内低側壁部を外容器の側壁によって閉塞して、前記ペット進入部が形成されないようになされており、

第１の形態においては、前記外低側壁部の位置と前記内低側壁部の位置とが一致しており、第２の形態においては、前記外低側壁部の位置と前記内低側壁部の位置とが不一致であり、

前記内容器の側壁の外面のうち、第２の形態において前記外低側壁部と対向する位置に内容器第３表示部を有する、ペット用トイレ。

【請求項７】

前記内容器第３表示部は、前記外低側壁部の端縁に沿った形状を有し、第１の形態及び第２の形態において視認不能である、請求項６に記載のペット用トイレ。

【請求項８】

第１の部材及び第２の部材を含む複数の部材の組み合わせから構成されており、各部材の組み合わせによって外形が異なり且つ使用形態が異なる第１の形態及び第２の形態をとるペット用トイレであって、

第１の部材が底部及び該底部の周縁に立設された側壁を有する外容器であり、

第２の部材がペットの排泄液を透過可能な簀の子構造の底部及び該底部の周縁に立設された側壁を有する内容器であり、

底部及び該底部の周縁に立設された側壁を有する外容器と、

ペットの排泄液を透過可能な簀の子構造の底部及び該底部の周縁に立設された側壁を有する内容器とを備えたペット用トイレであって、

前記外容器の側壁の一部に高さの低い外低側壁部を設けるとともに、

前記内容器の側壁の一部に高さの低い内低側壁部を設け、

前記外低側壁部と前記内低側壁部との位置を一致させて内容器を外容器の内部に配置することで、その隣接部の側壁よりも高さが低く、ペットがトイレ内に進入可能なペット進入部が形成されるようになされているとともに、

前記外低側壁部の位置と前記内低側壁部の位置とが一致しないように前記内容器を前記外容器の内部に配置することで、外低側壁部を内容器の側壁によって閉塞し、かつ内低側壁部を外容器の側壁によって閉塞して、前記ペット進入部が形成されないようになされており、

第１の形態においては、前記外低側壁部の位置と前記内低側壁部の位置とが一致してお

り、第２の形態においては、前記外低側壁部の位置と前記内低側壁部の位置とが不一致であり、
　前記外容器の側壁の内面のうち、第２の形態において前記内低側壁部と対向する位置に外容器第３表示部を有する、ペット用トイレ。
【請求項９】
前記外容器第３表示部は、前記内低側壁部の端縁に沿った形状を有し、第１の形態及び第２の形態において視認不能である、請求項８に記載のペット用トイレ。
【請求項１０】
　第１の部材としての固定フードと、第２の部材としての可動フードと、開口部を有し且つ該開口部の開口端に該固定フードが取り付けられる容器と有し、
　前記固定フードは、フード本体と、該フード本体の下部から水平方向に張り出した、前記開口端への固定用の枠体とを備え、
　前記可動フードは、前記フード本体に設けられたフード本体開口部を開閉自在に該フード本体に取り付けられており、
　前記可動フードは、第１の形態である閉状態において前記フード本体に設けられたフード本体開口部の少なくとも一部を閉塞可能に構成されているとともに、第２の形態である開状態において該フード本体開口部を完全開放可能に構成されており、
　前記固定フードの前記枠体は、前記可動フードの閉状態において該可動フードによって覆われる位置に前記表示部を有する、請求項１に記載のペット用トイレ。